



やってみよう！横断意思表示



横断歩道では歩行者が優先ですが、スマホの画面を見ていたりするとドライバーは停まって譲るかどうか迷ってしまいます。

横断歩道を渡るときは、ドライバーが横断者であると認識できるように、手をあげる、手を差し出す、ドライバーに顔を向けるなど**横断意思表示をしっかり**と行いましょう。



どんなに急いでも安全確認をしないで道路を横断するのは非常に危険です。横断を始める際は、**いつでも**左右等の**安全を確認**しましょう。



道路を渡る間には遠くに見えていた車も、いつの間にか近づいてくることがあります。

また、車が停まってもバイクや自転車がすり抜けて事故となる場合もあります。道路を渡り終えるまでは**じーっくり**動向に**注意**しましょう。大人は手をあげながら横断する必要はありません。



歩行者もドライバーも気持ちよく、お互いに思いやりを持って、停まった車のドライバーに**にっこり**会釈で感謝の気持ちを示しましょう。